

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2019年3月

第59号

主な予定

保全活動報告会

3月31日(日)

13:00~16:00

於：千葉大学シーズホール

平成31年度

NPO 法人通常総会

4月28日(日)

14:00~16:00

於：管理棟前

森と泉 & 生きものたち (17)

～長い道のり ズミの花 匂い立つまで (1)～

森田 勝

こんぶくろ池の森を象徴する貴重なズミの生長・天然更新が思わしくないことから、この保全と再生に取り組むべく東大・千葉大の先生方のご指導を戴きながら計画を煮詰めてきたところ、本年1月の理事会で「こんぶくろ池自然博物公園北地区のズミの保全・再生計画」が承認され、本プロジェクト(PJ)がスタートしました。その目指すところは、「ズミが湿地モデル地域において他の動植物と共生して、自己能力で天然更新できるための基礎となる環境を形成する。」ことです。

この道のりは遠くて長く、我々NPOは心をつなげて力を合わせ、計画的・組織的に活動することが、求められています。

このPJはまだ緒についたばかりですが、会員皆さんの意欲的な取り組みと、東大・千葉大の先生方や柏市公園緑政課のご指導とご協力を戴き、計画は順調に進捗いたしております。これまで2ヶ月間のズミの再生と保全の主要活動を紹介いたします。



追憶のズミ (#11、#12ズミ H29/4/22)

再生活動

ズミ再生の第一歩として種子を採り、会員皆さんの里親での苗づくりに着手しましたが、昨年の結実状況は思わしくなく、採種できたズミは僅かに2本(#13、#40)でした。

このため必成を期するべくズミの苗づくりを実践されている中庭会員に苗づくり講習会を開いて戴き、そのノウハウを教える機会を戴きました。また千葉大学にも協力をお願いいたして参りました。

里親の皆さんは、もう播種した方、これから春播きを予定している方等様々ですが、失敗を恐れず楽しみながら苗づくりに挑戦して、このズミPJに参画して戴ければと思います。



中庭会員より苗づくりの極意を伝授戴きました。これで苗づくりは大丈夫です。
(31/2/17)

3月3日現在、苗づくりの里親は20名です。千葉大学の小林先生からもご協力を戴けます。

5年後苗を持ち寄り、森に一齐に植樹しましょう。そして更に5年後、真っ白な追憶の花を咲かせましょう。長い道のりです。



中庭会員が5~6年間実生で育てられたズミの苗木です。

里親の皆さんの目標は最少限1株/人です。



#13 ズミの結実状況 H30/11/10



採種 H30/12/20



果肉処理した種子



里親会員の発芽便り続々と

駒嶺会員は、H31年2月12日、赤玉土に深さ1cm程で播種し、日当たりと霧吹きでの水遣りに注意を払い育成したところ、2月18日にはほぼ全数近くが発芽したそうです。

高山、山上両会員からも発芽の連絡がありました。

これから播く方もおられると思いますが、中庭さんのノウハウを実践すれば発芽は叶うと期待できます。

保全活動

ズミの光環境改善を主眼に、湿地林内の作業用通路の啓開、同通路沿い及びズミ周りのタケ・アオキ・ツル・叢生低木の伐採・切除等を実施するとともに、緩衝緑地帯の構築に着手しました。主要な活動状況は以下の通りです。



ズミ PJ 活動初日

繁茂するアオキ、竹、ツルを萩原、駒嶺、市川健、海野、山上、米山、中川望会員が伐採・切除しつつ作業通路を啓開、奮闘中。(H31/1/12~20)



作業中

#10 ズミ周辺のアオキ、叢生低木やツルを駒嶺、高山、山上会員が、伐採・切除しつつ作業通路を啓開中。(H31/1/26~31)



作業後

#10 ズミ周辺の作業後、明るく開けた湿地林です。(H31/1/31)



森に風を入れるな！と古来言われています。

風に吹き晒された状態では、草木は弱り湿地も枯れます。開放地域の侵入ササを刈り込み、低木を混植してバッファを構築中です。(H31/2/17)

山男(市川健会員)、雪穴ならぬ低木の植穴堀中。



#13 ズミ周辺のシラカシ伸長枝・叢生した低木やツル切除で、駒嶺、海野会員奮闘中。福永さんも体験中。(H31/2/17~23)



#13 ズミ周辺作業後、とても明るくなった湿地林です。(H31/2/23)



#33 ズミ付近にオオタカの食痕2ヶ所。シラサギ、ヤマバトに合掌。
(H31/1/31)

同日に2ヶ所の食痕を観察したのは初めてです。ペアリングするこの時期、雌雄のペアであればラッキーです。

オオタカの生息に影響を与える杉林でのチェーンソー使用は控えています。



ズミ周辺で虫を突つくコゲラ
(H31/1/21)



愛らしいモズ (H31/2/17)



高山会員は、今年も7個もの巣箱を作製し、そのうち3個を初めて湿地林内に架けました。

森は鳥とアリによりつくられる。

高山、山上会員、安全第一で巣箱を架設中です。(H31/2/17)

トンボ池の西側付近にポンプを設置（井戸掘り）

岡本 昇

私たち NPO は、柏市より井戸を掘る（トンボ池の西側にポンプ設置）との連絡が受け、平成 31 年 2 月 25 日（月）午前 9 時 30 分、工事着工の立ち合いに参加。

現在のポンプは、かつて柏ゴルフ場（昭和 36 年 9 月開場）の敷地で、現在未整備エリア内に約 60 年前から設備されているものだが、約 3 年前に園路と駐車場等を整備している際にポンプから繋がる導管を誤って破損したため、現在はトンボ池へ導水する応急措置を施して注水を続けてきた。

その時以来柏市としては様々な角度から検討を重ねてきた結果、ポンプや導管等が老朽化していること、また、今後のメンテナンスなども考慮しトンボ池に隣接した場所が適地であると判断し、この度新たに井戸を掘ることとなった。

井戸及びポンプの概要は次の通り。

- ・地下約 30m まで掘り下げ
- ・井戸の直径 125mm

・ポンプの能力 90ℓ/毎分

トンボ池はわずかに湧水も見られるが、水量不足は景観を損なうだけでなく水質悪化も招き、また、外来植物のスイレンがはびこり、他の水草やトンボの幼虫ヤゴなどの昆虫が生息しにくくなることにもつながる。今回の措置で良好な水環境が保全されるものと期待したい。

一方、こんぶくろ池自然博物公園は湿地環境を維持するため、湧水の確保は重要な課題の一つ。弁天池については、夏期や冬期には湧水不足の事態がこのところ毎年続いているが特段策なし。当公園の湿地環境を維持していくために、同時に、同池から流れ出る小川の景観は癒し、安らぎを覚える散策空間でもあることから、何らかの湧水・湧水対策が望まれる。



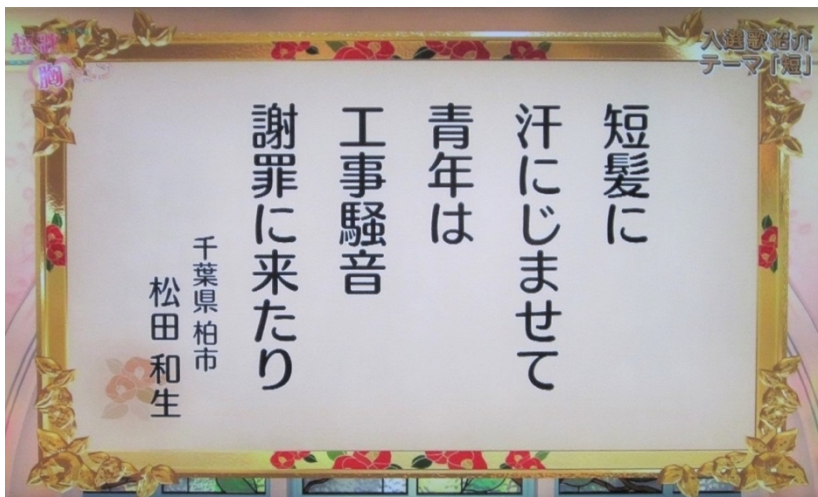
NHK短歌入選の報告と応援の御礼

松田 和生

2月24日のEテレNHK短歌「短歌 de 胸キュン」の放送で私の詠んだ短歌が入選歌として紹介されました。

投稿始めて3年経ちますが、ようやく入選までたどり着くことができました。これもNPOの皆さんの応援のお蔭と感謝いたしております。

選者は栗木京子氏（歌人：京大理学部卒、「塔」選者、読売歌壇選者、紫綬褒章等々）です。詠題は「短」でした。私の現役時代は短い髪で過ごしましたので短髪は慣れ親しんだ髪形です。



この歌は額に汗して働く実直でまじめな若者をイメージして作りましたが、「騒音というやや重い話題を扱いながら、青年の爽やかな印象と誠実さが伝わってくる」との選評をいただき、思いが届いたようで大変うれしく思いました。

もっとも、NPOの皆さんは青春真っただ中で、すでにこの歌の青年のように公園整備に爽やかな汗を流していましたね。

3月理事会

2019年3月2日(土) 10:00~12:00

出席理事：石渡、市川、上田、岡本、萩原

オブザーバー：藤原、中川望、山上

1. 審議検討事項

(1) 役員改選・事務局員

新体制の検討：石渡、工藤退任予定 藤原、中川、山上3名を現時点では理事、事務局として加入予定

会長人事案：次回検討

理事選出方法：明文化、ルール化を検討。次回提案(岡本)

(2) 期末業務の確認

H30年度決算見込み：次年度へ繰越金が見込める。

H31年度予算案：H30年度と同様の内容で計画。

H31年度管理当番予定表：メーリングリストで配布(萩原)

H30年度事業報告：3/29(金)柏市へ暫定報告予定(岡本他)

(3) 総会開催および準備、総会案内発送

H31年通常総会4/28(日)14時予定。3/11の週前半に会員宛発送予定。

当番予定表：メールおよび手渡し、郵送(総会案内と同封)で配布。

(4) 保全活動報告会

開催日時：3/31(日)13時、千葉大学シーズホール

こんぶくろ池通信(萩原)他で関係者へ周知

NPO報告内容：H30年度調査内容、ズミ保全計画および千葉昆虫談話会調査結果要旨。

(5) ズミ保全エリア 立ち入りルール

基本計画に「湿地は保全レベル3で貴重種保護の必要な人員のみが立ち入り、出入口を管理する。」と定められている。将来的には象徴的空間への導入エリアとして木道の計画があるが、現時点では「ズミの保全」が始まったばかりで計画的組織的に連携して活動をするため、立ち入りの制限は必要でありやむを得ない。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。